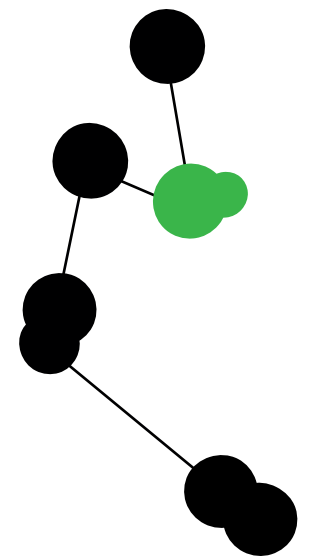




無断転載・複製禁ず。

# OFFLINE VENTURES

## オフラインプラットフォーム



# テレワーク X 地方創生：人材育成の「新たな」動向

## 知識経済における人材と課題

### 職場環境における課題：

生産性、創造力、福利厚生、自己決定力、孤立

### 求められている能力：

創造力の発揮

### 必要な人材：

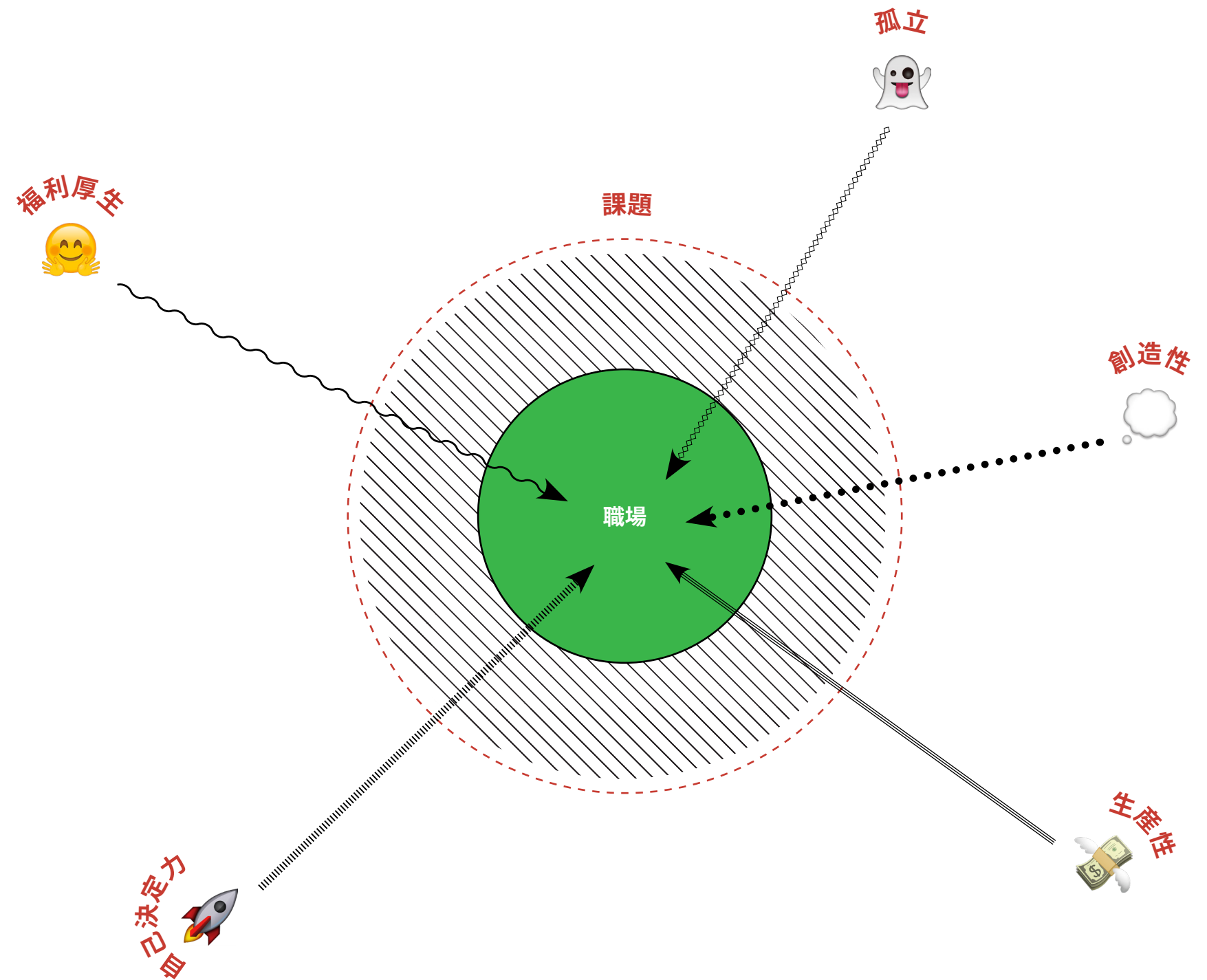
高い知識とノマド的性質（野心、技能、柔軟性）を備え、組織の内外で上を目指す上昇志向の強いプロフェッショナル

### インスピレーションの源：

学習・成長の機会、裁量

### マネジメント側の責務：

企画、調整、情報の収集と提供、チームワークの維持



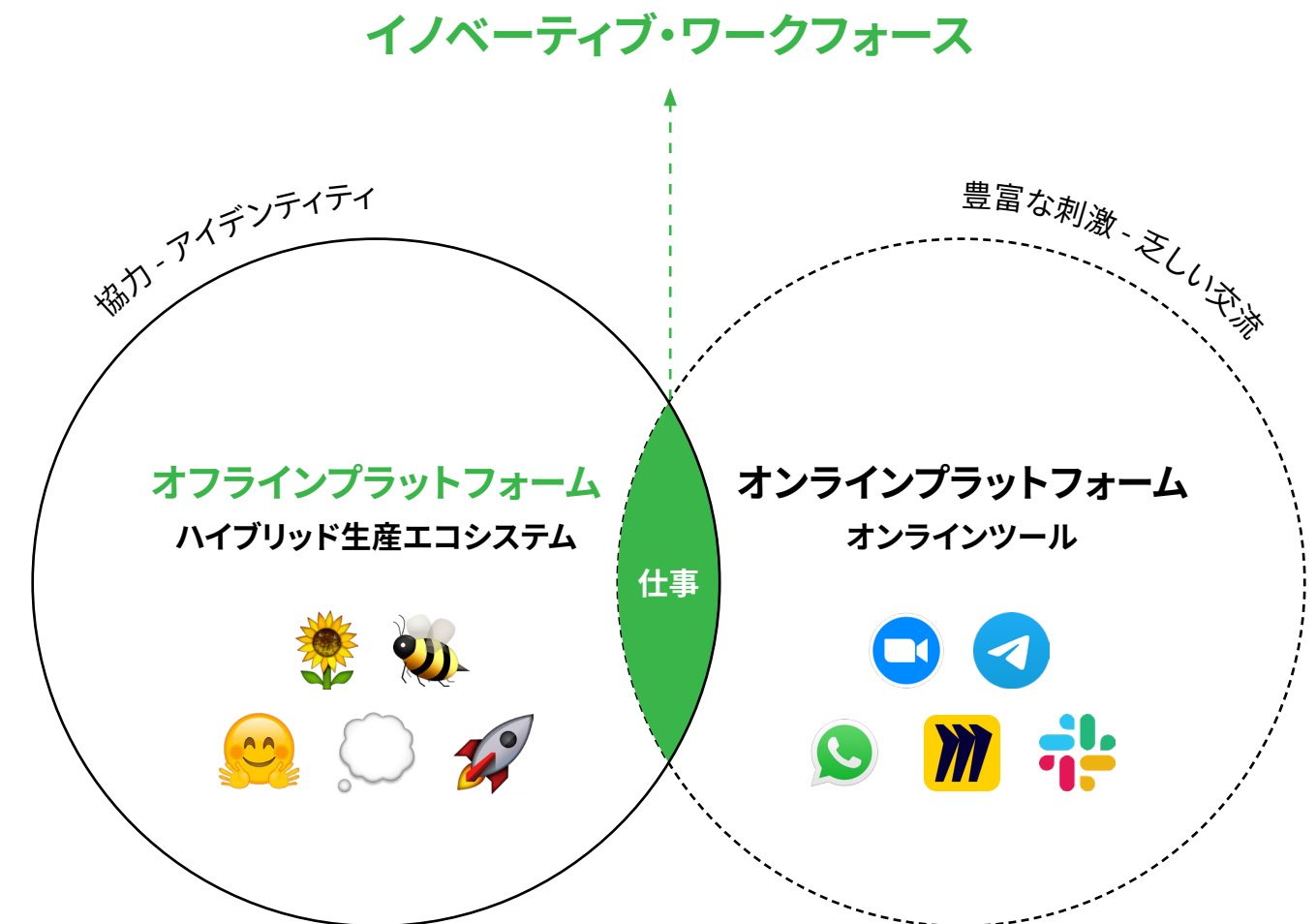
# オフラインプラットフォーム: 私たちの提案

## コラボレーションとアイデンティティ

**Offline Ventures** は、オンラインでの活動では得られない経験を提供することで生産性の向上を目指す**オフラインプラットフォーム**を提案します。

オフラインプラットフォームは、流動的なノンプログラムの状況下で、目的意識を持って自発的に物事を決める決断力や、与えられた環境への適応力を鍛える場所として、企業HR部門の人材育成を支援。

地方の居住エリアにポップアップ形式で設置された「完全オフラインバージョン」では、オンラインの「縛り」から開放された時間を活用した自己分析やアイデンティティの確立、人とのつながりが乏しい職場環境の中で衰えたチームワークの強化が可能となるほか、地方での生活を体験することでソーシャルキャピタルの構築やQoLの向上などが期待できます。



# オフラインプラットフォーム：概要

## 基本設計＋オーダーメイド

オフラインプラットフォームは、基本の設計の下、ユーザーとなる組織の特性、文化、目的に合わせたオーダーメイドで作り上げるサテライトシステム。

ユーザーの希望次第で、プライベート空間、共有スペース、独自プログラムの構築など、さまざまな要素を自由に組み合わせることができます。また、必要に応じてオンラインツールも導入できるため、プロジェクトチームや個人ユーザーによる長期利用や、ワーケーション施設としての活用も可能です。

デザインワークの基本  
●  
集中

非同期な働き方  
●



デザインワークの基本  
●  
集中  
非同期な働き方  
●  
体験協力仲間意識自発性  
●  
プライバシー  
●  
プログラムの源  
●  
人ソフトウェア  
●  
会社の文化  
●  
学びの文化  
●  
OFFLINE VENTURES

体験  
協力  
仲間意識  
自発性  
●

プライバシー  
●

プログラムの源  
●

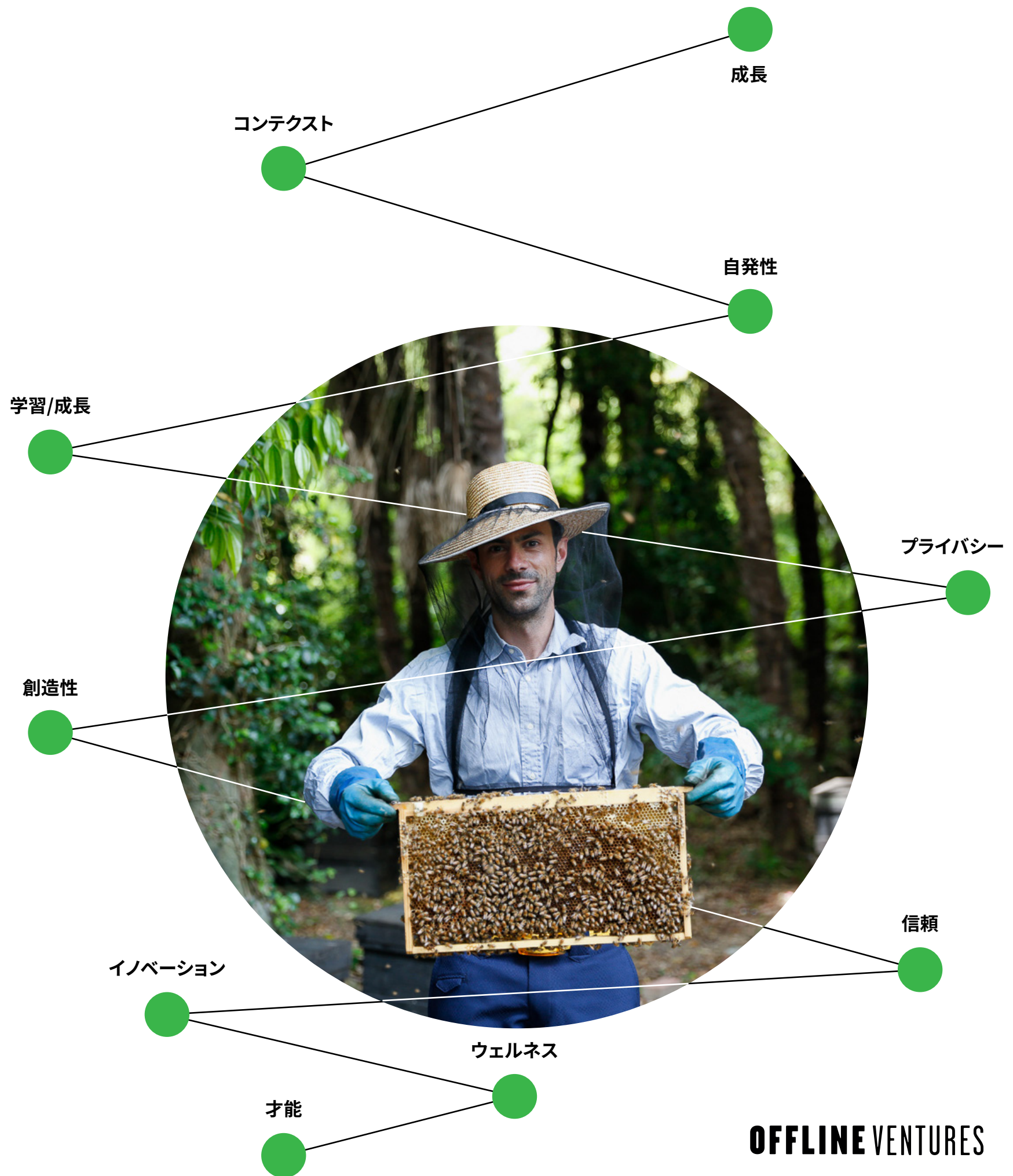
人ソフトウェア  
●

会社の文化  
●  
学びの文化  
●

# プラットフォーム: 利用価値

企業・個人ユーザーが体験できること

- 創造力 (タスクの遂行に想像力を働かせる力)
- イノベーション力 (新しいアイデアを効果的に組み合わせる力)
- 判断力 (意思決定や価値評価において正しい比較・分析をする力)
- 信頼 (チームワークを高め、オンラインツールの過剰利用で低下した信頼醸成を補完)
- 主体性 (個々が自発的に行動する力が高まることで、組織全体の生産性が改善)
- 学習/成長 (知識と経験の研鑽)
- ウェルネス (ライフスタイル、バイオサイクル、禅)
- プライバシー (オンラインツールのより効果的な活用)
- 人材の確保 など



# オフラインプラットフォーム：コラボレーションハブ

## 一般的なコワーキングスペースとの違い

オフラインプラットフォーム(OP)が、いわゆるコワーキングスペースと異なる最大の点は、ユーザー自身が中長期的な目標の中で「価値」を生み出すこと。

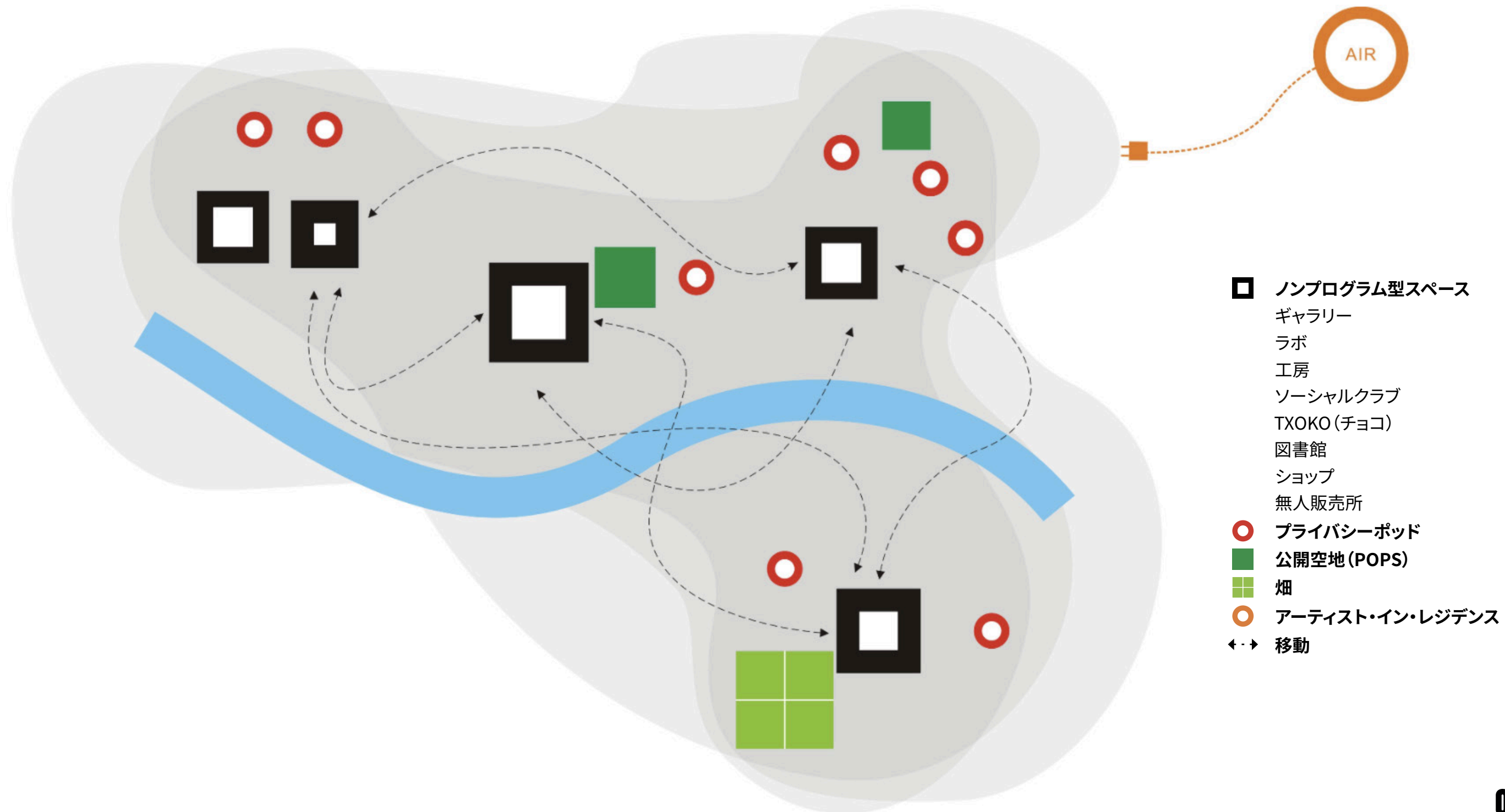
ユーザー(企業、団体または個人)はOPの構想・企画立案から参加し、全員で目標を共有します。

OPはカルチャーセンター、ラボ、工房、ソーシャルクラブのコンセプトを融合させた空間であり、ユーザーのライフスタイルに合わせた使い方が可能であることも大きな特徴です。



# オフラインプラットフォーム：プロジェクト構想

イラストで見るハイブリッドスタイルOP



# オフラインプラットフォーム：プロジェクトアプローチ

## OPを構成する4つの要素

### コンテキスト:

OPを設置する地域の特性との調和

### インフラ:

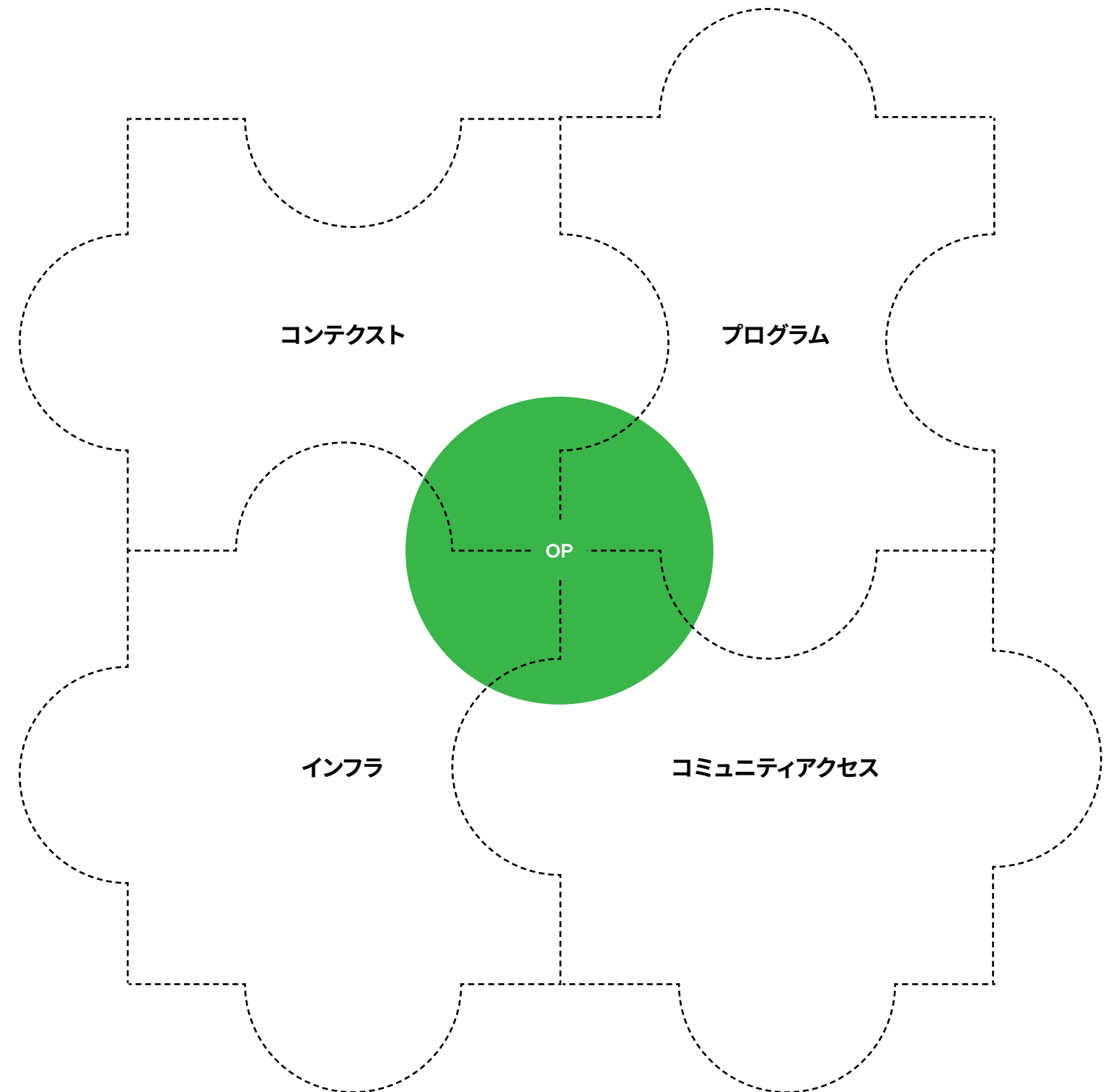
OPの物理的な空間・建物とモジュールシステム

### コミュニティアクセス:

地元コミュニティとの積極的な交流、地域が生み出す「価値」の共有 (例: 公共緑地の使用、地域主催のワークショップへの参加)

### プログラム:

OPで実施する活動 (例: 文化振興に向けたワークショップやイベントなどのオフラインコンテンツの開催、アーティスト・イン・レジデンスの実施)





# オフラインプラットフォーム：試験運営

京島(東京都墨田区)

ご来訪をお待ちしております!

現在、東京都墨田区に設立した京島OPプロトタイプで試験運営(スペースのレンタル、作品販売、マイクロレジデンスなどの営利活動、および無償で行うワークショップやコミュニティイベントなどの地域活動)を実施しています。



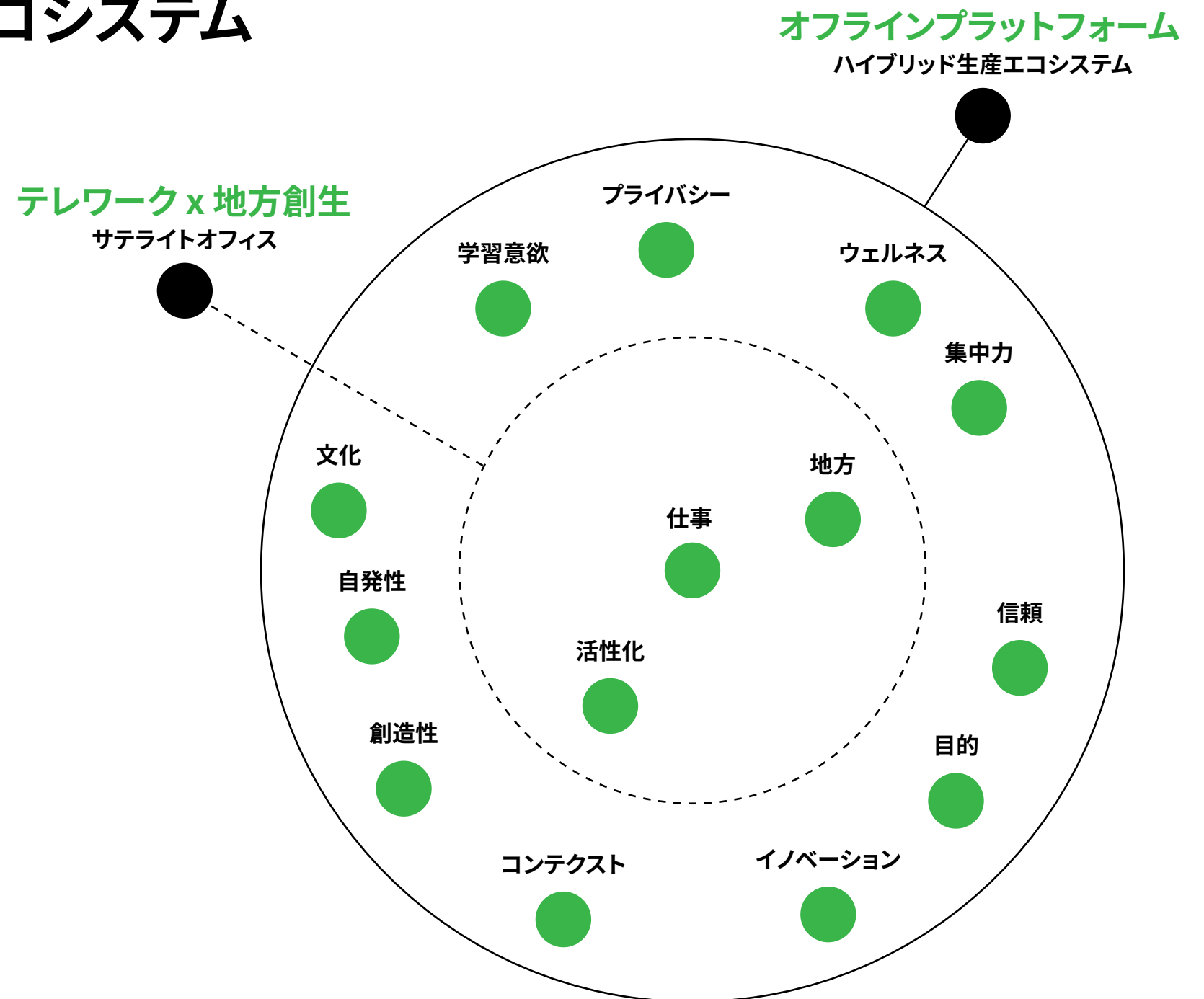
# テレワーク x 地方創生：交付金制度

## 生産性向上を目的としたハイブリッドなエコシステム

テレワークの推進は、「仕事の在り方」を見直すきっかけとなるだけでなく、CSRやサステナビリティの促進に向けた取り組みに革新をもたらす可能性を秘めています。

政府は現在、**地方創生テレワーク交付金事業制度**を実施し、都心部の本社から地方の「サテライトオフィス」への人員の移動、または本社業務の一部の地方への移管を促すことで、地方経済の活性化や雇用創出への取り組みを強化。

**オフラインプラットフォーム**は、テレワークを推進する政府や自治体の協力の下に設計されたサテライトオフィス。その最大の特徴は、地方創生に加え、企業や社会全体の生産性アップを目的としていること。利用者の創造力、イノベーション力、判断力、集中力、学習意欲、主体性、信頼性、ウェルネスなどの向上を目指す新しいかたちのワーキングスペースです。



# 地方創生テレワーク交付金：ポイント①

## 概要、対象事業、申請要件

### 概要

地方でのサテライトオフィスの開設やテレワークを活用した企業進出・滞在・移住の推進により、地方への新しい人の流れの創出を図る。

### 対象事業

- サテライトオフィス等整備事業 (自治体運営施設整備等)
- サテライトオフィス等開設支援事業 (民間運営施設開設支援等)
- サテライトオフィス等活用促進事業 (既存施設拡充促進)
- 進出支援事業

### 申請要件

**政策目的に対する適合性:** 都市部から地方への新しい人の流れの創出に資する取組、地方創生テレワークの円滑な実施を可能とする取組

**企業進出・滞在・移住の実現可能性:** (i) 地域の強み・資源を分析し、地域の強み・資源を活かした取組 (ii) 進出・滞在・移住を働きかける企業像等が明確で、企業等のニーズに的確に対応した取組 (iii) 相乗効果を生む取組

**企業進出・滞在・移住の持続可能性:** (i) 地方公共団体のみでの取組ではなく民間とも協働して行う取組 (官民協働) (ii) 事業を実効的・継続的に推進する主体が形成される取組 (iii) 働く環境の整備・充実後の運営計画が継続的なものになっていること

**地域経済等への波及効果:** (i) 地域の雇用や賑わいの創出など地域経済への波及効果が見込める取組 (ii) 住民の生活向上への波及効果が見込める取組 (iii) 過大な施設設置とならず、高い費用対効果を示せる取組

# 地方創生テレワーク交付金：ポイント②

## 交付金の種類、政策間連携の可能性、関係政府機関

### 交付金の種類

高水準タイプ <補助率3/4>: (i) 目標とする進出企業数、移住者数等について高い水準を設定するとともに (ii) 企業進出・滞在・移住の好循環を創出し得る取組の自立性が高く (iii) 官民協働、政策間連携等の先駆的要素が含まれる事業

標準タイプ <補助率1/2>: (i) 目標とする進出企業数、移住者数等について適切な水準を設定するとともに (ii) 企業進出・滞在・移住の好循環を創出し得る取組の自立性を有する事業

### 政策間連携の可能性

#### 文化

- 日本博イノベーション型プロジェクト
- 文化資源活用推進事業
- 文化資産を活用した展覧会支援事業
- 地域無形文化遺産継承のための新しい生活様式支援事業
- 文化資源の高付加価値化促進事業

#### 財政/税制

- ふるさと納税

### GOVERNMENT ACTORS

- 内閣府(地方創生推進事務局)

(東京への一極集中の是正、地方分散型の活力ある地域社会の実現)

- 総務省

(地方創生、サテライトオフィスの“マッチング”支援)

- 観光庁

(ワーケーション)

- 環境省

(国立公園の活用)

- 農林水産省

(農業の人材育成)